

ヘナ・シロダーラ

開発への思い

全自動ヒーリングマシン【ゼンダーラ】による施術は5000年前にインドで発祥した「アーユルヴェータ」という伝承医療の一つである「シロダーラ」を取り入れた施術です。私は約20年前にインドでシロダーラを初体験しました。その時に今までに経験したことが無かったリラックス効果を実感したのです。まさに衝撃の体験でした。それから日本に戻り、さっそく日本でシロダーラを普及させようと活動を開始しました。その中で大きな問題が立ちはだかりました。一つは施術中、ずっと人が付いていないといけないという事。二つ目は額へ液を落とすスピードや動きが安定しないという事。三つめは油によって髪がベタベタになる為、後処理が面倒な事。です。そこで私は「全自動式のシロダーラ施術マシン」の開発を2005年から開始。そして2022年5月に「全自動」「静音」「移動可能」「水温の安定化」「水量の一定化」などの機能を取り入れた納得のいくマシンが完成しました。それが「全自動ヒーリングマシン・ゼンダーラ」です。同時に油性液から「水溶性ハーブ液」も独自に開発しました。これによって既存の美容関連サービスやリラクゼーションビジネスにも簡単に導入することができます。是非とも「全自動ヒーリングマシン・ゼンダーラ」で皆様の可能性を広げていただければ何よりの幸せです。

ゼンダーラ開発者 中西 洋子

期待される効果

- 1, 不眠改善、熟睡の促進
- 2, 冷え性（手、足、肩、腰など）改善
- 3, 不安、うつ病の改善
- 4, ストレス発散
- 5, 瞑想
- 6, 頭髮の育成、薄毛や抜毛、白髪予防

シロダーラマシン（全自動ヒーリングマシン）

- 1, 全自動だからスタッフが付かなくてOK
- 2, 設置、移動が簡単
 - ・マッサージベット、シャンプー台に簡単に設置
 - ・組立式、移動式
 - ・スーツケースに収納（23Kg）飛行機 預け荷物可能
 - ・出張サービスも可能
- 3, 静かな動作
- 4, 液が乱れずに一本の糸のように垂直に流れる
- 5, 操作簡単

ダーラエッセンス

オイル文化のない日本では「べたべたしている感覚」が好まれません。そんな日本でも受け入れられやすいように100%ハーブでできた「ダーラ・エッセンス」を開発しました。100%ハーブのパウダーをお湯に溶かすだけで使用できます。髪トリートメントにも高い効果を発揮します。環境問題にも対応しています。

自然のハーブの恵みがタップリと配合

＊グァーガム・グリシン（アミノ酸）

睡眠の質をよくする。深くぐっすり眠ることができ、朝の目覚めを爽快にする効果があります。



＊タカサプロウ

抜け毛、薄毛の予防効果があります。



＊アムラ

髪を丈夫で健やかにする。白髪、抜け毛予防の効果がある。天然ビタミンCを豊富に含んでいます。



＊ツボクサ（ゴツコラ）

若返りのハーブで、主に神経と脳細胞を活性化します。



＊メリアアザジラクタ（ニーム）

保湿剤。頭皮を健やかにし、フケ・かゆみを防ぎます。



＊ヘナ

髪にツヤを与え、ハリとコシが出る。鎮痛、解熱、抗炎症作用があります。



＊ラベンダー

優れたリラックス作用がある。精神的な不安や緊張感を取り除いて、安眠へといざなってくれます。



＊シカカイ

シカカイの実は、髪を健康にし、しなやかにするが、髪の際を取り除かない。頭皮と髪が清潔になり、フケがなくなる。髪の活性効果があり、髪の成長を助ける。シカカイの実は、また、皮膚病の治療に使用されます。

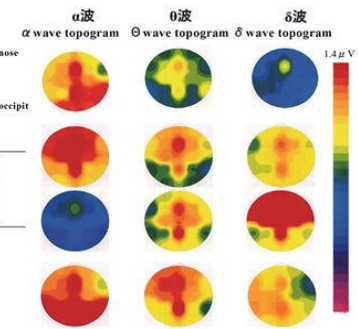


- ハーブ水溶液（ダーラエッセンス）
- ・サラサラの使用感で周りもベトつかない。
 - ・酸化臭無しオイルでないので酸化しない。
 - ・オイルフリーだからシンクにそのまま流せます。
 - ・粉末だから携帯に便利、移動施術もOK
 - ・低コストでタップリのハーブを使えます。
 - ・水溶性なのでリネン類も即洗濯機で洗えます。

研究報告

シロダーラ施術はアーユルヴェーダの要素ヴァーダ（バランスを崩して全ての病気に繋がる）を鎮静させ、また自律神経や精神・心身の鎮静作用を持つものもあります。それによりストレス解消にも繋がり、心の病を浄化し明晰さと認知を向上させます。オイルは頭皮から浸透して、脳の近くの血流から吸収され、神経学的にシロダーラ施術の効果を表す。上馬場和夫博士の実験結果が載る「Engineering in Medicine and Biology Magazine」によりますと、シロダーラは不眠症を緩和し、不安やうつを軽減し、また高血圧を低下させます。「シロダーラ中の生理的変化は、瞑想と同様であり、前頭葉から出るα波と心拍数の減少、またCO2排出の現象を含むとされております。 このデータを基にシロダーラ効果は前頭葉からα波、辺縁系（へんえんけい）、脳幹及び自律神経系の機能の変化を示すことを示す。

変性意識の脳波所見：瞑想での変化と類似



種類	ヘルツ	状態
ガンマー波γ	38以上	興奮状態
ベータ波β	13～38	活動状態
アルファ波α	8～13	リラックス状態
★シータ波θ	4～8	まどろみ・瞑想
デルタ波δ	0.2～4	睡眠状態

監修者：上馬場和夫（kazuo Uebaba）プロフィール 医師/医学博士 ハリウッド大学院大学教授/トータルメディカル研究所所長/内閣府認証NPO法人日本アーユルヴェーダ協会理事長。アーユルヴェーダとヨーガ、中国医学、漢方医学などの東方医学と現代医学を融合して、医療を超えた「生命の科学アーユルヴェーダ」の創生をライフワークとしている。 著作に『新版インドの生命科学アーユルヴェーダ』（農文協）『アーユルヴェーダとヨーガ改訂3版』（金芳堂）『アーユルヴェーダ実践BOOK』（地球丸）など多数。